

とちぎ国際戦略～世界から選ばれるとちぎ～（仮称）の策定について

1 趣旨

県では、平成28（2016）年3月に「とちぎ国際化推進プラン2016～2020」を策定し、5年間の基本施策を示し、国際化に向けた取組を実施してきた。

この間、新たな経済連携協定の発効や外国人材の受入れ拡大等、本県を取り巻く環境が大きく変化していることから、平成31（2019）年4月には、「国際戦略推進本部」を設置し、県が実施する国際関連施策を総合的に推進しているところである。

今後も県勢を持続的に発展させるためには、本県の魅力・実力を世界に発信し、様々な地域間競争に打ち勝つ必要がある。

そのため、関係者がビジョンを共有し、積極的に挑戦するために、戦略を策定するものである。

2 位置づけ

栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」の次期プランに掲げる目指すとちぎの将来像の実現に向け、本県の国際化を推進するための考え方や取組の方向性等を示すものとする。

また、県民、民間団体、市町等が相互に連携を図るとともに、活動を展開していく上での指針とする。

3 推進期間

令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5か年間とする。

4 ポイント

(1) 「目標（目指す姿）」

関係者が共有するビジョンを明確化するため、「世界から選ばれるとちぎ」を目標として設定するとともに、3つの具体的な目指す姿を示す。

(2) 「基本姿勢」と「基本戦略（戦略の4本柱）」

目標を実現するための基本姿勢を示すとともに、戦略の対象や分野を明確化するため、「グローバル展開の促進」「外国人観光客の誘客推進」「国際交流・協力の促進」「多文化共生の推進」を戦略の4本柱として設定する。

(3) 「重点エリア」

海外展開に係る取組の相乗効果の最大化を図るため、観光地や県産品・県産農産物等の本県の強みを最大限生かすことができる国・地域を重点エリアとして設定する。

(4) 「新型コロナウイルス感染症」

感染拡大の影響が多方面に及んでいるため、国際化に係る潮流の変化や国の動向等を注視しながら策定過程の中で適切に反映する。

5 内容（案）

- (1) 栃木県を取り巻く環境
- (2) 栃木県の目指す国際化
- (3) 取組の方向性
- (4) 重点エリア
- (5) 推進体制
- (6) 進行管理

6 体制等

(1) 庁内検討体制

「国際戦略推進庁内連絡会議」において、関係課と検討を行うとともに、「国際戦略推進本部」において、庁内各部局からの意見聴取及び総合的な調整を行う。

(2) 栃木県国際戦略推進専門委員会

有識者15名で構成される「栃木県国際戦略推進専門委員会」において、新たに策定する戦略（案）に関する幅広い意見を求める。

(3) 県民、市町からの意見募集

「栃木県パブリック・コメント制度実施要綱」等に基づき、県民・市町から意見を求める。

7 スケジュール

令和2（2020）年度末を目途に策定することとし、その主な日程は以下のとおり。

日 程	会議・検討事項等	備 考
令和2（2020）年 7月下旬	第1回 国際戦略推進本部会議 ➤ 骨子案の検討	
8月12日	第1回 栃木県国際戦略推進専門委員会 ➤ 骨子案の検討	
10月中旬	第2回 国際戦略推進本部会議 ➤ 素案の検討	
11月中旬	第2回 栃木県国際戦略推進専門委員会 ➤ 素案の検討	
12月上旬	パブリック・コメント実施	
令和3（2021）年 2月上旬	第3回 国際戦略推進本部会議 ➤ 案の検討	
2月中旬	第3回 栃木県国際戦略推進専門委員会 ➤ 案の検討	
3月	決定・公表	